

なんでも 労働相談ワンポイント!! その2

今回は「年次有給休暇」のお話です。皆さんは計画的に有給休暇が取得できていますか？仕事が忙しくてなかなか取れないと嘆いている方も多いと思います。年次有給休暇に関して、連合群馬に寄せられる労働相談は大きく三つに分けられます。

一つは「うちの会社は年次有給休暇制度がないんだけど、問題は無いの…？」

二つは「年休を取得すると、皆勤手当が無くなるので休みたいくても休めない…」

三つは「退職日までに残っている有給休暇を全て使いたいんだけど問題は無いの？」と言うものです。

それでは一つ目の相談から解説します。年次有給休暇制度は、事



業場の業種・規模に関係無く、全ての事業所の労働者に適用されます。労働基準法上では週所定労働時間が30時間以上で6ヶ月の継続勤務、かつ、8割以上の出勤を条件として10日が付与されます。よって、条件を満たしているのに年次有給休暇を付与しない場合は労働基準法違反となります。

二つ目の相談では、労働基準法で年次有給休暇を取得した労働者に対して、皆勤手当のカットや賃金の減額等の不利益取扱いをすることを禁止していますので、皆勤手当のカットがされたような場合は、労働基準法違反となります。

一つ目と二つ目の相談のように、違反があった場合は法律上の説明をし、解決に向けて会社と話し合いを持つようにアドバイスしています。

三つ目の相談に対しては、有休休暇を残らず取得することは法的には可能ですが、後味の悪くならないよう事前に引継ぎ日程などについて、上司と充分に話し合いを行い、年休取得するようにアドバイスしています。

皆さんも心身のリフレッシュを図り、自己啓発の機会として、年次有給休暇を活用しましょう。

とっておきの 散歩道

No.10

新潟県・福井県を襲った集中豪雨から2ヶ月が経ちます。被災にあわれた方々に心からお見舞い申し上げます。

連合群馬は、連合本部や関東ブロックの要請を受け、隣県でもあり関越自動車道や上越新幹線など街道でつながる新潟県を中心に、救援物資とボランティアの協力を行った。

～さて今回は、「心と物」を考えるお話～

猛暑が続く7月。緊急要請で集められた、救援物資のタオルとシーツはわずか2週間で事務所と廊下を埋め尽くした。その数、ダンボールでざっと300箱だろうか。

最近、この短期間で「人」「物」が動く様を感じられなかったが、メディアで流れる悲惨な状況をみた方々の「思い」が、この期間でギッシリと詰った300箱となった。

続々と各組合から届く物資は、各家庭から集められたと思われるもの。中身は新品だが、箱はどこか薄汚れ時代を感じさせ、ホコリをかぶったものもあり、家のどこかで存在を忘れられていたのか、この時とばかりに登場したと思われる。

あるテレビ番組で、男女7人の若者が世界各国旅をしながら恋愛をする番組があり、その中である発展途上国を回っていた。この国のある村の村人たちはタバコの葉を主要産業とし、かやぶき屋根の小さな家に家族がひっそりと暮らす。振舞う料理は村人たちも口にすることができないほどの豪華料理。それを分かっているが、口に合わない参加者は手がつけられない。参加者が「幸せに生活するために心がけていることはなんですか？」「生きがいは何ですか？」。村人は笑顔も見せず「神のご加護とやはりお金ですね」と何度も答えた。

参加者もそうだったが、私も「家族・・・や健康」と言って欲しかった。

そんな事もあり、皆の『思い』で集まったものとは裏腹にこの状態をみて、何だか身につまされた。

これから新居を構えることになるが、新品を買う前に身の回りをもう一度見てみようと思った。〈鼎〉

編集後記

真夏のたいへん暑い中、今年で59回目を迎えた広島・長崎の平和祈念式典が行われました。

連合群馬は、今年沖縄・広島・長崎の平和行動に団を派遣し、永久の平和を願って千羽鶴を収めました。

大勢の人々を犠牲にした戦争・原爆・・・

すべての核兵器をなくそう！
ノーモア ヒロシマ・ナガサキ
イ姉

やがてのひらひら

第一〇回参議院選挙では群馬選挙区の富岡候補をはじめ連合組織内八候補など、関係する候補者全員の当選を勝ち取った。しかし、課題とされていた比例区の候補者名投票では、思うような状況には至らず、引き続き各組織には大きな課題として残された。

事前に行った政治意識調査では組合員の候補者決定の判断基準は、候補者の人柄・資質が第一位となっており、そうした傾向が結果として裏付けられるものとなった。

全国区の比例区選挙の難しさを改めて示す結果であるが、例えば組織内でも人柄などで決めるとの回答に対しては、候補者と組合員との距離を縮め、慣れ親しんでもらう以外にないと思われるが、その解決への道は並大抵のことではない。

政治意識で示された組合員ニーズに添える取り組みは、今から開始されていなければ、二度三度の結果を再び招くことになりかねない。